

TCAの合言葉 ①自転車で風を追いかけよう ②健康と友情の輪をひろげよう ③道と自然と文化に親しもう



T C A ニ ュ ー ス

= 1995年2月発行 = 【No. 89】
発行 東京サイクリング協会 広報委員会
〒110 東京都台東区上野3-8-8 ☎03-3833-3969

サイクリストの五楽 ①輪楽・自転車を楽しむ ②行楽・旅を楽しむ ③道楽・道を楽しむ ④友楽・友を楽しむ ⑤遊楽・遊びを楽しむ

多摩川バーベキューの集い

TCA恒例の春のバーベキューの集いが、今年も羽田サイクリングクラブのご協力により多摩川で出来ることとなりました。

ご家族、お友だちを誘って是非参加してください。

*

- 主 催：東京サイクリング協会
日 時：1995年3月26日（日）12時～午後3時
会 場：多摩川にかかる第三京浜自動車道路の「多摩川橋」と「二子橋」の間の右岸（川崎市側）
多摩川橋よりの河原。（雨天の時は多摩川橋の下で行ないます）
集 合：①丸子橋の右岸（川崎市側） 午前11時30分
②二子橋の右岸 午前11時45分
内 容：集合場所より係員が案内して会場の河原でバーベキュー・パーティーを展開します。
メニューは焼肉、焼きそば、豚汁（芋煮）等盛り沢山です。
参加費：¥2,000（現地払い）
携行品：雨具、修理用工具類。
申し込み：3月15日までにハガキに住所、氏名、年齢、連絡電話番号、希望集合場所を記入して下
記へ連絡してください。TCA会員は電話で結構です。
〒110 東京都台東区上野3-8-8
東京サイクリング協会「春のサイクリング係」
☎03-3833-3969
注 意：①お問合せは協会までどうぞ。
②準備の都合で、員数が狂うと困りますので必ず事前連絡を守ってください
③人数が多過ぎてお断りしなければならない場合は、5日前までに連絡します。その節
はあしからずご了承ください。
④自動車は会場周辺に駐車できます。（進入路は二子橋西詰めから）

協会からのお願い

'95年度の会員証を発行します。会費は、昨年と同じ5,000円（JCA 4,000円、TCA 1,000円）
です。会費のお支払いは、協会へ直接持参するか現金書留のほか、下記の振り込みもご利用下さい。
振込の場合の口座番号は下記の通りです。

①郵便振込：口座番号 00100-9-190048 東京サイクリング協会

②銀行振込：さくら銀行 上野駅前支店 普通口座 0962970 東京サイクリング協会

※今年度に新制度移行のための補講を受講出来ない一、二級リーダーの方は、別にリーダー更新登
録料1,000円もいっしょにお願いします。

＝東京いいところ 自転車散歩＝
《東京再発見！！》

*

◇第22回は、23区内唯一の渓谷「等々力渓谷」を訪ねます。

集合日時： 3月26日(日) 9時45分 (雨天中止)

集合場所： 神宮外苑サイクリングセンター前

出発： 10時 コース 約17km

コース： 神宮外苑 — 目黒不動 — 林試の森公園 — 等々力渓谷 — 二子玉川園

解散： 12時頃 東急二子玉川園駅

今回は、解散後、“多摩川パーベキューの集い”に参加できるよう計画を立てました。パーベキューに参加予定の方、出発を少し早めてご一緒にませんか？ 走った後のパーベキューは一層美味しい！ もちろんフリーランのみの参加も大歓迎。

希望者には、担当者が帰路のご案内をいたします。

担当： 池田 幸 ☎044-856-8273

問い合わせ： 中村洋一郎 ☎03-3541-6466

○パーベキューの集い参加予定者は、協会事務局まで事前にお申し込み下さい。

※フリーランは、自由参加です。但し、離脱する時は仲間やコース担当者に声をかけて下さい。

サイクリング中は、事故、怪我等に十分注意して各自の責任において走って下さい。

※————— ※————— ※

＝東京いいところ 自転車散歩＝ 《東京再発見！》 報告

*

第17回 94-4-03 「大森、池上方面」 走行距離 14km 参加者 9名

天気は良かったが強い北風のためスタートが少し遅れた。今回は、集合地を品川八つ山橋とした。“大井”の名の起りの大井山光福寺を始め、旧東海道、鎌倉古道沿いに古寺を訪ねる。歴史資料館、大森文士村をメインに弁天池などで花見を楽しみながら池上本門寺を廻る。門前の相模屋で久寿餅を食べ、山脇のそばの老舗蓬月庵で昼食をとる。帰路は、川端龍子記念館を参観、折よく画室見学をさせてもらう。都内の温泉として評判の馬込温泉で解散。解散後、希望者は黒い湯の温泉で汗を流す。

第18回 94-5-03 「目黒、世田谷を走る」 走行距離 23km 参加者 15名

自転車月間の5月は、日程決定が難しく、連休に実施となった。過去2回雨天で流れたコースで、今回も降りそうななかスタートした。駒場の前田侯爵邸跡の都立近代文学博物館に寄り、羽根木公園で昼食をとる。午後は、豪徳寺、世田谷城跡、代官屋敷(調査不足で休み)から太子堂、祐天寺を経て、現代彫刻美術館を親て目黒不動で解散。最後は行人坂を上り外苑へ戻った。緑と坂道が特徴。

第19回 94-6-12 「ブロックラリーコースを下見」 走行距離 30km 参加者 14名

今回は、いつもの自転車散歩と異なり、近づくブロックラリーの下見として東京再発見を離れ、協会業務に協力する。「移動コース」「モーニング・ランコース」「記念モデルコース」の一部を試走し、会場のチェックをした。北川リーダー作成のコマ地図使用など、下見作業は順調に出来たが、途中から強い雨となり、梅雨時とはいえ最悪の条件となった。初参加者には気の毒であった。

第20回 94-12-18 「東京のオアシス親水公園めぐり」 走行距離 13km 参加者 21名

半年ぶりに再開の、“東京いいところ自転車散歩は”、12月18日(日)上野公園10時スタート、都立木場公園3時半解散の第20回「東京のオアシス親水公園めぐり」として行われました。JCAニュースとの同時発送の都合で、TCAの予定を20日も遅れ、実施日の2日前に会員

に届くという不手際、申し訳ありませんでした。荒川C.C.の全面のご協力で親水公園めぐりの楽しさに加え、荒川土手での温かい豚汁サービス、そして解散後、木場ミドリアムのご厚意のミーティングと、有意義な忘年サイクリングを楽しみました。

第21回 95-1-8 「新春初詣ラン」 走行距離 10km 参加者 30名

恒例となったTCA初詣ランは、例年の3日でなく8日に行われました。三が日と日曜どちらが参加し易いか、ご意見をお寄せ下さい。

今年は、港区七福神巡りの初サイクリングと、外苑、パレス両サイクリングセンターへ年始を兼ね初顔合わせを計画し、フリーラン参加者30名、顔合わせ20名と多くの参加をみました。天候にも恵まれ、東京タワー付近の思いもよらぬ抜け道、坂道に予想外に疲れた方も、今迄にない走り方に楽しみを感じた方もいらしたのでは…。尚、参加者の寄せ書きと、加藤副会長の音頭による手締めは、必ず幸運を呼ぶことでしょう。

《第17回～第20回までの参加者と第21回の参加者＝寄せ書き》

会田、会津、井口、池田、石塚、石原、磯部、及川、小笠原、小川、加藤、影山
 鹿兒島夫妻(兼)、河本、亀田(F)、北川(兼)、紺田、近藤夫妻、斎藤、佐藤、佐藤、下館
 鈴木、高木(兼)、高木(兼)、田島、田中(F)、鶴巻(F)、寺井、豊島(F)、中村、根岸
 橋本(F)、林、松崎、松本、満田、山崎、吉川(兼) (敬称略 (F):女性)



※TCA行事の中で簡単に参加できるとして好評(?)のフリーラン「東京いんどこ自転車散歩＝《東京再発見 / /》」も21回をかぞえ、延べ266名の方が走っています。

今年もよろしくお祈りします / /。

指導委員会

TCA新指導者制度への移行に伴う補講講習会のお知らせ

*

JCA新指導者制度については、既にJCAニュース No. 342(平成6年12月)で詳しく説明されていますが、これに伴い、東京サイクリング協会でも、現行制度の資格保有登録者を対象に補講講習会を行います。第1回目は、平成7年2月25日(土)東京都勤労福祉会館で開催します。(対象者には、既に葉書で連絡しています。) この補講講習会を受講されると、平成7年度(4月1日)から一級・二級のインストラクターとしてJCAに登録されます。

なお、資格保有登録者とは、平成6年度TCAリーダー更新登録者(講師・JCAリーダーは、JCA登録者)となります。

今回、受講できなかった方で、来年度補講講習会の受講を希望される方は、TCA事務局までご連絡下さい。TCAリーダーとして更新登録を行っておけば、平成7年度の補講講習を受講することによって移行できます。又、受講しない場合でも、本人から登録の意志表示があれば一ランク下の級に登録できます。

※各地方協会ごとに補講講習会を行っていますので、東京で受講出来なかった場合に、他の地方協会で受講出来るようにも検討しています。詳しくは、TCA事務局へお問い合わせ下さい。

TCA事務局：☎03-3833-3969 又は、

指導部・高木：☎045-363-9547 まで。

東京サイクリング協会・指導委員会

ドイツでの自転車遊び(3)

☆

一年間、それなりに夫婦で楽しんだドイツでの自転車遊び。今回は、ドイツの友人に誘われて出掛けたザール川沿いのサイクリングのお話です。

(池田 幸・美河)

五月の或る日曜日、友達のローソン夫妻がサイクリングに誘ってくれました。車に自転車を積み、まずはメルツィヒにあるご主人ペーターの実家へ。そこに車をおき、50km程離れたドイツ最古の街トリアーを目指して、いざ出発。ザール川に沿って四人でのんびりと走ります。途中、デイズ畑や牧場のそばを通ったり、川を走る船と競走したり、水門の開閉を見物したりしているうちにお昼になりました。中間地点にあたるザールブルグで昼食。川岸のレストランのテラスで座っていると、何だか夢を見ているようでした。昼食後、再び走ること二時間。ようやくトリアーに到着した時には足はガクガク……。それでという訳ではありませんが、メルツィヒまでは列車で戻りました。こちらには自転車をそのまま載せられる貨車のついた列車が走っており、それを選べばとても楽です。ペーターの実家では御両親が夜中まで歓待して下さい、今思い出しても楽しくなる一日となりました。

このサイクリングで特に印象的だったのは、年齢を問わず、そしてスタイルを問わず、沢山の方が、本当にサイクリングを楽しんでいる姿でした。そして、車の心配がなく、安心して走れる道があることがとても羨ましく思えました。

(美河 記)

